

(別紙様式8)

通信実施計画書

事業者名： (株)真和福祉会介護職員初任者研修事業

研修期間： 平成26年 5月11日～平成26年 8月31日

1 添削指導

(1) 添削責任者

講師番号	氏名	担当する科目・項目名	講師要件	専兼の別	新規・継続の別	備考
1	山平美保	7. 認知症の理解	エ サ	専任	新規	
2	稲葉伸二	2. 介護における震源の保持・自立支援	ア エ	専任	新規	
3	村上佳子	4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	ア エ	専任	新規	
4	田端大士	3. 介護の基本	ア エ	専任	新規	
5	三浦加奈子	5. 介護におけるコミュニケーション技術	ア	専任	新規	
6	萩尾奈保美	9. こころとからだのしくみと生活支援	ア	専任	新規	
7	丸山光江	6. 老化の理解	ウ	専任	新規	
8	宮崎増美	8. 障害の理解	ウ	専任	新規	

(別紙様式 8)

(2) 課題作成者

講師 番号	氏名	担当する科目・項目名	講師 要件	専兼の 別	新規・継 続の別	備考
1	山平美保	7. 認知症の理解	エ サ	専任	新規	
2	稲葉伸二	2. 介護における震源の保持・自立支援	ア エ	専任	新規	
3	村上佳子	4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	ア エ	専任	新規	
4	田端大士	3. 介護の基本	ア エ	専任	新規	
5	三浦加奈子	5. 介護におけるコミュニケーション技術	ア	専任	新規	
6	萩尾奈保美	9. こころとからだのしくみと生活支援	ア	専任	新規	
7	丸山光江	6. 老化の理解	ウ	専任	新規	
8	宮崎増美	8. 障害の理解	ウ	専任	新規	

(別紙様式 8)

(3) 添削指導の進め方 (具体的な課題の配布方法・時期、提出方法、評価方法等)

課題の配布方法	・申込後受講料の入金を確認し、テキストと課題(問題集)を同封して発送する。
時期	・募集期間中にテキストと問題集を送付する ・自宅学習課題は開講期間中(下記参照)までに課題提出を完了する。 課題1・・・スクーリング第2回まで 課題2・・・スクーリング第3回まで 課題3・・・スクーリング第4回まで 課題4・・・スクーリング第5回まで 課題5・・・スクーリング第6回まで 課題6・・・スクーリング第7回まで 課題7・・・スクーリング第8回まで 課題8・・・スクーリング第9回まで
提出方法	・各課題の提出方法は、当社へ持参及び郵送(当日必着)にて提出
評価方法	・理解状況を確認するため、学科レポート採点基準を70点以上を合格と定め、各担当講師が採点をし、評価を行う。また基準に満たない者へは再学習の上で再提出を求める。合格点に達するまで再提出を続ける事とする。 ・自宅学習時の疑問や質問等はスクーリング時に対応し、通信補講を行う。

(別紙様式8)

2 面接指導

(1) 面接指導者

講師番号	氏名	担当する科目・項目名	講師要件	専兼の別	新規・継続の別	備考
1	山平 美保	1. 職務の理解 7. 認知の理解 10. 振り返り	エサ	専任	新規	
2	稲葉 伸二	2. 介護における尊厳の保持・自立支援 4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	アエ	専任	新規	
3	村上 佳子	2. 介護における尊厳の保持・自立支援 4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	アエ	専任	新規	
4	田端 大士	3. 介護の基本	アエ	専任	新規	
5	三浦加奈子	5. 介護におけるコミュニケーション技術	ア	専任	新規	
6	萩尾奈保美	6. 老化の理解 9. こころとからだのしくみと生活支援技術	ア	専任	新規	
7	丸山 光江	6. 老化の理解	ウ	専任	新規	
8	宮崎 増美	8. 障害の理解	ウ	専任	新規	
9	西田 緑	9. こころとからだのしくみと生活支援技術	ア	専任	新規	
10	梶原るり子	9. こころとからだのしくみと生活支援技術	ア	専任	新規	
11	大石 真紀	9. こころとからだのしくみと生活支援技術	ア	専任	新規	
12	佐藤 仁俊	9. こころとからだのしくみと生活支援技術	カ	専任	新規	
13	平田 景子	9. こころとからだのしくみと生活支援技術	ア	専任	新規	
14	服部 知之	9. こころとからだのしくみと生活支援技術	ア	専任	新規	
15	村上 祐子	9. こころとからだのしくみと生活支援技術	ア	専任	新規	

(別紙様式8)

16	甲斐 光広	9.こころとからだのしくみ と生活支援技術	ア	専任	新規	
17	立岡 発美	9.こころとからだのしくみ と生活支援技術	ア エ	専任	新規	

(2) 面接指導時期、指導時間数

指導回	指導時期	担当講師	内 容 (講義・演習教科名)	時間数
第1回	5/11	山平 美保	1.職務の理解	6時間
第2回	5/18	稲葉 伸二 村上 佳子	2.介護における尊厳の保持・ 自立支援	3時間
		田端 大士	3.介護の基本	3時間
第3回	5/25	三浦加奈子	5.介護におけるコミュニケーション技術	3時間
		萩尾奈保美 丸山 光江	6.老化の理解	4時間
第4回	6/8	稲葉 伸二 村上 佳子	4.介護・福祉サービスの理解 と医療との連携	6.5時間
第5回	6/15	西田 緑 萩尾奈保美	9.こころとからだのしくみと 生活支援技術	6.5時間
第6回	6/22	山平 美保	7.認知症の理解	3時間
		宮崎 増美	8.障害の理解	3時間
第7回	6/29	萩尾奈保美	9.こころとからだのしくみと 生活支援技術	7時間
第8回	7/6	梶原るり子	9.こころとからだのしくみと 生活支援技術	7時間
第9回	7/13	大石 真紀	9.こころとからだのしくみと 生活支援技術	6時間
第10回	7/20	佐藤 仁俊	9.こころとからだのしくみと 生活支援技術	6時間
第11回	7/27	平田 景子	9.こころとからだのしくみと 生活支援技術	6時間
第12回	8/3	服部 知之	9.こころとからだのしくみと 生活支援技術	6時間
第13回	8/10	甲斐 光広	9.こころとからだのしくみと 生活支援技術	6時間
第14回	8/17	村上 祐子	9.こころとからだのしくみと 生活支援技術	6時間
第15回	8/24	立岡 発美	9.こころとからだのしくみと 生活支援技術	6時間
第16回	8/31	山平 美保	10.振り返り	4時間
		萩尾奈保美	修了評価	1.5時間
				計 99.5 時間

(別紙様式8)

- 注1 「担当する科目・項目名」欄には、カリキュラム(別紙様式4)に記載した科目名あるいは項目名を記載すること。科目又は項目名を特定せず面接指導を行う場合、2の(1)「担当する科目・項目名」、(2)「内容(講義・演習教科名)」には、当該面接指導で取り扱う内容について記載すること。
- 注2 「講師要件」「新規・継続の別」「専兼の別」「講師番号」欄には、講師一覧(別紙様式5の1)と同一の内容を記載すること。
- 注3 1の(3)「添削指導の進め方」には、課題の配布方法・時期、提出方法、評価方法等について、具体的な流れに沿って記載すること(別紙にて添付可)。